

認知症の薬の使い方とそのリスク

岡山

介護現場ではいま、画一的な処方と多剤併用によって
深刻な<薬害>が起こっている！

高松

2017年

日時：7月12日(水) 10:30～16:00

会場：オルガホール
(4階会議室「スタディールーム」)

(岡山県岡山市北区奉還町1-7-7)

☆JR「岡山」駅西口から、北へ徒歩7分

2017年

日時：7月13日(木) 10:30～16:00

会場：高松テルサ (202号)

(香川県高松市屋島西町 2366-1)

☆JR「高松」駅より7番・屋島大橋線バス
「高松テルサ」下車すぐ

< 認知症介護&医療の全てが分かる1日コース >

【講師】

ひがしだ つとむ
東田 勉



フリーライター。介護・福祉・医療分野の綿密な取材をもとに執筆した著書は多数。
2014年に刊行された『認知症の「真実」』（講談社現代新書）はベストセラーに。長尾和宏医師との共著『認知症の薬をやめると認知症がよくなる人がいるって本当ですか？』（現代書林）、村瀬孝生氏との共著『認知症をつくっているのは誰なのか』（SB新書）、近著に『親の介護をする前に読む本』（講談社現代新書）がある。

へ
プ
ロ
グ
ラ
ム
▽

- 10:30～11:30 **認知症医療の最前線の動き**
なぜ認知症はこんなに増えたのか／海外から批判されている日本の認知症対策／症状による4大認知症の見分け方／高齢になるほど増える合併と移行
- 11:45～12:45 **抗認知症薬のメリットとデメリット**
中核症状とBPSDへの薬の使い分け／抗認知症薬の増量規定／いまさら聞けないアリセプトの作用と副作用／認知症のコミュニケーション障害にどう対応するか
(昼食)
- 13:45～14:45 **高齢者への薬物療法の極意**
第一線の認知症医が導き出した結論／抗認知症薬が認知症を悪化させる／コウノメソッドの画期的な投与方法／リバスチグミンとシロスタゾール／意識障害とせん妄への対応
- 15:00～16:00 **介護職は何ができるのか**
デビルメソッドからお年寄りを救い出せ／声をあげ始めた医師たち／アルツハイマー病の真の問題とは何か／心理学からのアプローチと介護からのアプローチ

*受講料はお送りしません。満員でお断りする場合のみ一週間以内にご連絡申し上げます。

【受講料：6,000円】

*受講料は当日会場で承ります。

主
催

なるほどケア塾

〒189-0011

東京都東村山市恩多町 3-39-13-101 榊円窓社内

お問い合わせ

☎042-306-3771

お申し込みはこちらへ Fax

Fax：042-306-3772

< 参加人数 >

< 参加者名 >

*施設の場合は施設名もご記入ください。

< 住所 >〒

(自宅・職場)

< TEL >

< FAX >

7/12(水) 岡山 ()名	7/13(木) 高松 ()名
--------------------	--------------------